大方縣寫真帖

YQ5-H82
1200600718618

大方縣寫真帖

YQ5-H82

大分縣寫眞帖目次

國立國會圖書館藏書
I種
W
1200600718618

大分縣寫眞帖目次

皇太子殿下御泊所（大分縣立中津高等女學校）……一
統　監　部（中津南部尋常高等小學校）……二
大分縣廳……三
官幣大社宇佐神宮……四
國幣中社西寒多神社……五
國幣小社柞原八幡宮……六
大分市……七
中津町……八
別府町……九
步兵第七十二聯隊……一〇
大分縣師範學校……一一
大分縣女子師範學校……一二
大分縣立大分中學校……一三
大分縣立中津中學校……一四
大分縣立宇佐中學校……一五
大分縣立大分高等女學校……一六
大分縣立農學校……一七
大分縣立工業學校……一八
大分縣立農林學校……一九
四日市尋常高等小學校……二〇
大分縣立病院……二一
大分縣物產陳列場……二二
大分縣農事講習所……二三
大分縣種畜場……二四
大分紡績株式會社……二五
大和組豐後製絲場……二六
片倉組製絲紡績株式會社大分製絲所……二七
中津絹絲紡織株式會社……二八
豐中製絲株式會社……二九

YQ5-H82

成清鑛業株式會社馬上金山……三〇
久原鑛業株式會社佐賀關製煉所……三一
大分セメント株式會社……三二
大野製絲株式會社……三三
九州水力電氣株式會社女子畑發電所……三四
明治大分水路普通水利組合……三五
竹細工……三六
大分縣模範林……三七
蘭田……三八
津組蜜柑……三九
牛馬放牧……四〇
大分港……四一
佐伯港……四二
大友宗麟の墓……四三
福澤翁記念碑……四四
廣瀨中佐銅像……四五
羅漢寺……四六
青の洞門……四七
深耶馬溪……四八
富貴寺……四九
血の池地獄……五〇
海地獄……五一
由布嶽……五二
魚住の瀑布……五三
龍門瀑布……五四
九重山……五五
久住硫黄礦……五六
日出生臺……五七

大分縣寫眞帖目次 終

大分縣寫眞帖目次 終

皇太子殿下御泊所

（大分縣立中津高等女學校）

中津町舊城内に在り、明治四十四年下毛郡立として創設せられ、大正三年四月現校舍の新築成り、翌四年三月より組織を變更して縣の經營に移せり、修業年限四箇年、十二學級にして、生徒現員五百五十人なり。

今秋豐前平野に於ける特別大演習に際し、皇太子殿下御泊所に充てらる。

統監部（中津南部尋常高等小學校）

中津町舊城内に在りて同町約半數の兒童を收容す、現校舍は大正七年の新築にして、二十學級一千百人の兒童を收容す。

今秋豐前平野に於ける特別大演習擧行に際し、統監部に充てらる。

大分縣廳

大分市街の東、舊府内城址にあり、城は慶長二年福原氏の創始にして、爾來早川、竹中二氏を經て、日根野氏に至り完備す、荷揚城又白雉城と稱す、明暦四年以後、大給氏の居城たりしか、明治四年大分縣廳を置き、豊後一圓豊前二郡を管轄す、濠堞門樓今猶存し、夕陽依稀として老松に映するの時、坐ろに往時を追懐せしむ。

官幣大社宇佐神宮

宇佐町の東方、龜山に鎭座す、欽明天皇三十年、應神天皇、比賣大神、神功皇后を奉祀す、古來皇室の尊崇甚た厚く、其災害あるや廢朝の事さへあり し、境內古木蓊鬱、寄藻川其麓を繞つて流れ、大尾山其東に峙ち、一たひ足を瑞籬の內に容るれは、閑古幽寂、威靈身に迫りて覺えず襟を正さしむ。

國幣中社西寒多神社

大分郡東植田村にあり、西寒多神を祀る、境内櫻樹多く、一條の清泉神城を繞りて流る、土地閑寂にして風景亦佳なり。

下馬下乗

國幣小社柞原八幡宮

大分郡八幡村に鎮座す、大分港埠頭より西南坂路を登ること十町許、四望宏濶の境、樹木森々たる一寰區卽ち靈域とす、閑雅幽邃一點の黃塵を留めず、神殿廻廊樓門等頗る壯麗なり、祭神は仲哀、應神、神功の三柱にして、天長四年の創祀に係り、古へ屢〻勅使下向のことあり、古文書、寶物數百點を藏す、大正五年國幣小社に昇格せらる。

大分市

王朝時代より豊後の國府を市の南端に置かれしか、大友氏を經て、徳川氏に至り、府内藩と稱し、福原、早川、竹中、日根野、大給の諸氏此地に封せられ、明治四年大分縣廳を置きて太分町と改稱す、同四十四年市制を布き、爾來市勢益、發展して、現今戸數七千四百、人口四萬七千を有するに至る、諸官衙、學校、兵營、會社、工場等の建物巍々として駢立し、日夜殷賑を極む、春日浦の勝景、上野丘の古美術は、世に誇とする所なり。

中津町

天正十四年、黒田如水來りて中津城を築き、十六萬石を領してより、市街俄に般賑となり、後細川、小笠原を經て、享保二年奥平氏十萬石を以て丹後より移封し、以て明治維新に及ぶ、縣下最も廣濶なる山國川の平野を控へて、其の河口に位置し、交通至便、商業繁昌せり、戸數二千五百、人口一萬四千あり、舊城内の公園、闇無濱は遊覽の勝區にして、大雅堂の揮毫を藏する自性寺は、騒客の觀覽常に絶えず。

別府町

豊後灣の底位に在り、鶴見山後に聳え、菌蓋海前に湛ゆ、波光嵐影の間、市街縦横相連り、氣候溫和、大氣清鮮、到る所溫泉の湧出せさるなく、汽車汽船の交通至便にして、浴客常に萬を下らす、是を以て近年町勢大に發展し、現今戸數五千、人口二萬六千に及ひ、泉都の名天下に喧傳せらるゝに至れり。

歩兵第七十二聯隊

大分市街の西端にあり、明治四十一年始めて第十二師團より分置せし營所なり、大正七年西伯利亞に出征して殊功あり、田中支隊壯烈の最後は永へに靑肝に傳ふる所たり。

步兵第十二聯隊

大分縣師範學校

大分市街の西北部にあり、背後に春日浦を控へ、蓬萊公園に隣接し、空氣清新、風光明媚なり、現校舍は明治三十三年の建築にして、敷地約九千五百坪、建坪約二千六百坪、生徒三百八十名、附屬小學校は、同一構内に在りて兒童四百七十名を收容す。

大分縣女子師範學校

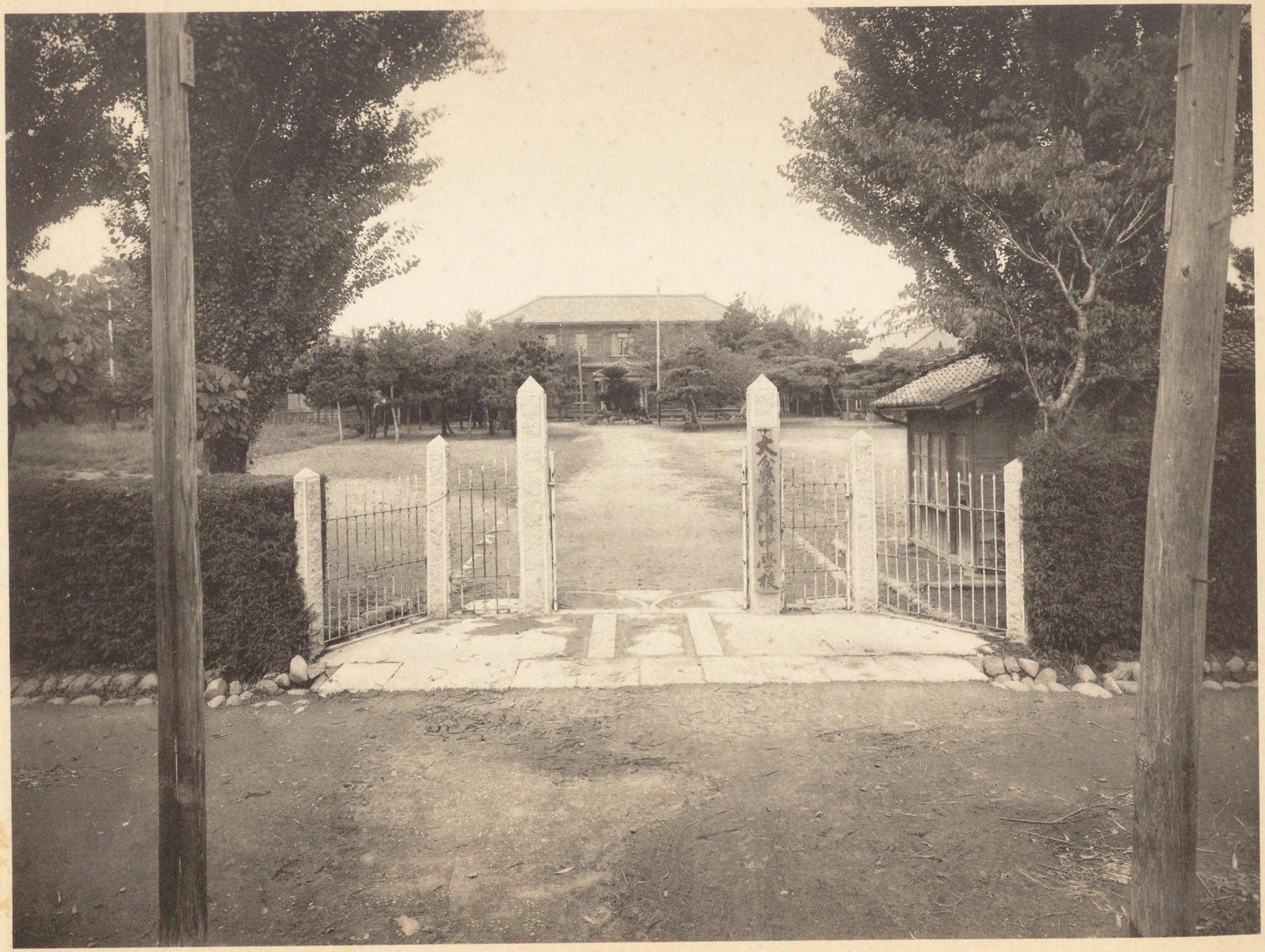
大分市街の東端に在り、明治四十四年の建築にして、敷地約七千七百坪、建物約二百坪、縣立學校中最も完備せるものと稱せらる、是より先明治四十年、高等女學校内に女子師範部を設置せられしが、是に至りて分離移轉す、生徒百八十餘名、五學級に編成し、別に講習科四十名、附屬小學校兒童二百七十名あり。

大分縣立大分中學校

大分市街を距る南二十町、上野か丘にあり、明治二十七年の建築にして、敷地約一萬百坪、建物約千六百坪、生徒數五百八十人あり、土地高燥にして、四望快濶、嵐影水光、自から机邊に落つ。

大分縣立中津中學校

中津市街の西端、豐田村に在り、明治二十七年の創立に係る、學校の敷地約七千坪、建物約千五百坪、生徒數六百二十人、之を十四學級に編成す、中津平野の中央に位し、北は渺茫たる周防灘を望み、山國川其の後を繞り、頗る形勝の地たり、



大分縣立宇佐中學校

宇佐市街の東北、高丘にありて、和氣公の舊蹟、大尾山と相對し、眺望宏濶なり、敷地約七千百坪、建物約千二百坪、生徒數六百三十人あり。

大分縣立大分高等女學校

明治三十三年六月の開校にして、當時舊師範學校の校舍を充用せしが、三十七年現今の校舍を新築せり、敷地四千九百坪、建物千八百坪あり、本科八學級、三百八十人、實科四學級、百八十人を收容し、共に修業年限四箇年とす、大分市街内に位置して通學に便なり。

大分縣立農學校

大野平野の中央、大野郡三重町にあり、明治二十七年の創立にして、最初臼杵町に設置し、農科、獸醫科、水產科を置きしが、三十八年速見郡石垣村に新築移轉し、大正七年六月再ひ現地に移轉せり、目下農科、畜產科及農業別科を置き、生徒二百五十名、八學級に編成す。

大分縣立工業學校

大分市街の西北部に在り、元大分縣物産陳列場の建物を修築したるものなり、初め明治三十五年速見郡別府町及濱脇町の組合を以て別府町に創立され、乙種程度の工業徒弟學校として特殊の校風を有し、名聲遠邇に高かりしが、四十三年大分縣の經營に移り、大正四年十二月現今の地に移轉せり、同七年組織を改めて甲種程度を本科とし、更に徒弟の別科を附設す、機械、建築、家具、木工の四科を七學級に編成し、生徒約百六十名を收容す。

大分縣立工業學校

大分縣立農林學校

日田郡日田町なる慈眼山の麓に建設せられ、眺望頗る佳なり、明治三十四年の創立にして、敷地四千三百坪、附屬地十五萬坪を有し、建物一千一百坪なり、森林科、養蠶科、及養蠶別科に分ち、生徒百八十名、七學級に編成せり。

四日市尋常高等小學校

宇佐郡四日市町大字四日市にあり、明治三十四年の建築にして、全町兒童約六百を收容し、十三學級に編成するを以て、適度の規模と稱せらる、郡の中心に當り、諸事能く整頓せり。

大分縣立病院

大分市街の西端に在り、內、外、眼、耳鼻咽喉科、及産科婦人科の五部を設置し、名聲甚た高し、初め明治十三年創設せしか、二十二年大分縣醫學校の廢止と共に閉院、三十二年再ひ開院す、爾來年々規模を擴張し、四十四年改築を施し、設備整頓して遺憾なきに至れり。

大分縣物産陳列場

別府公園地域に在り、別府市街を瞰下して、山紫水明の景勝を縦にす、明治四十年大分町に創設せしが、大正五年此の地に新築移轉す、敷地一千四百五十坪、建物四百二十坪、和洋折衷の十二棟より成る、縣下の生産品、及參考品を陳列して、公衆の縦覧に供し、又委託販賣、生産品の調査、取引紹介等、本場を利用する者日々に增加し、產業上の好機關となれり。

大分縣農事講習所

大分市街の東端に建設せらる、明治四十一年の創立にして、農事の試驗、農事の指導奬勵、農事講習生の養成を爲す、既に長期講習を卒へたる者四百三十人に及ひ、其他蠶種製造、柑橘試驗、米麥品種改良、種子配布等、農業改良上に寄與する所甚た多し。